

往復料金「例年の2倍」

「格安航空券サイト」ena(イーナ)を運営するエアプラス(東京・港)によると、2月上旬時点で東京(成田)―本ノルル便、同大阪(関西国際)便の往復価格は50万円程度(燃油サーチャ

ージ・諸税別)だ。担当者らは「例年の2倍はする」と話す。

東京ーパリ便は50万円程度、同大阪便は60万円

弱だ。例年の2倍以上という。担当者は「関西国際空港のほうが便が少ないので、価格が上がりやすい」と指摘する。

「今後は休みをずらしたり、行き先を東南アジアなど近場にしたりする人が増えるのではないか」(同)とみている。



大型連休で海外に向かう人たちが混み合う
成田空港の発着口ビー（昨年4月）

「（10連休が決まった）2018年12月から19年1月にかけて、欧米やハワイ行きの予約数が前年に比べ3～5倍に急増した」。通常、GWの予約ピークは3月ごろ。オーブンドアが運営する旅行価格比較サイト「トラベルコ」では1月下旬時点で東京・ホテル便が前年の3月時点の価格の2倍に跳ね上がっている。

エアプラスの担当者らは「GWは需要期だが、この上がり幅はみだことがない」と驚きを隠けぬ。